組織名	最上地域政策研究所	
-----	-----------	--

1 組織概要

所在地	山形県新庄市金沢字大道上2034(山形県最上総合支庁内)
TEL	0233-29-1236
FAX	0233-23-2615
URL	
e-mail	ymogamirenkei@pref.yamagata.jp
設立	2012年7月4日
設置都市等	新庄市·金山町·最上町·舟形町·真室川町·大蔵村·鮭川村·戸沢村·最上広域市町村圏事務組合·山形県
代表者	須藤 勇司(所長/山形県最上総合支庁長)

2 組織動向

2 組織動向	
(1)沿革	
設置経緯	山形県最上地域における諸課題について調査研究し、各市町村の政策推進に資するとともに、市町村職員等の政策形成能力の向上を図るため、管内8市町村、最上広域市町村圏事務組合及び山形県最上総合支庁とで共同設置することとした。(平成24年7月4日設置)設置にあたっては、各市町村長、最上広域市町村圏事務組合理事長、山形県最上総合支庁長とで協定を締結した。
見直しの動向	従来は職員研修(人材育成)の側面が強かったが、2016年度から、最上地域が直面する諸課題の解決に向けた具体的な施策立案に取り組むこととした。
役割(2017年時点)	山形県最上地域における諸課題について調査研究し、各市町村の政策推進に資するととも に、市町村職員等の政策形成能力の向上を図ること。(設置経緯を再掲)
(2) 組織体制	
設置形態 <u>(択一)</u>	□ 自治体の内部組織 □ 常設の任意団体(提言等を行う会議体型の団体も含む) □ 公益法人(財団法人・社団法人) □ 大学の附置機関 □ 広域連合 □ その他
常勤職員数	2 人
うち常勤研究員数	0 人
非常勤研究員数	8 人
専門性確保に関する特徴 <u>(複数選択可)</u>	□ 専門的な知識を有した研究員の採用 □ 外部有識者の活用(研究員として採用した者を除く) □ 大学・非営利活動法人等と連携した研究の実施 □ 設置市の企画部署と連携した研究の実施 □ 設置市の関係部署と連携した研究の実施 □ その他 □ 特に行っていない
庶務体制	事務職員1人
市民参加、外部連携	
(3)会計	
会計規模※人件費・間接費(>	オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない
2017年度予算	3,531 千円
2016年度決算	3,531 千円
2015年度決算	1,695 千円
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	順位
自治体の内部組織以外の団体の場合の事業活動収入の	1位 補助金等収入
<u>体</u> の場合の事業活動収入の	2位
主な内訳 (多い順に選択)	3位
	4位
	順位 収入種別
自治体の内部組織の場合の	1位 設置部局の予算
事業活動収入の主な内訳	2位
(多い順に選択)	3位
	4位
L	

	組織名	最上地域政策研究所
--	-----	-----------

3 活動動向

3 活動動門 (1)活動中结		
(1)活動実績		調査研究の概要
2017年度に実施した 調査研究	調査研究名	調宜研究の概要 (研究成果を閲覧できる機関(国会図書館等)や URLがある場合は末尾に記入)
	人口減少・少子高齢化のもとでの地域交通対 策	今後、さらなる高齢化の進展が見込まれる中、高齢者の病院や買い物等の移動手段を確保し、その利用促進を図るため、以下の3つの視点から施策を提案 ①「バスを知らせる」(広報誌等を活用した積極的周知、バスの乗り方教室開催等) ②「バスを使ってもらう」(企画乗車券の販売、色分けやアルファベットを使ったバス停やバスの行先表示の改善等) ③「バスを便利にする」(病院やスーパー等を周遊する新庄市内循環線の新設と新庄駅をハブとしたJRや村営バスとの接続による利便性向上等)
	地域産業を支える人材の育成・確保(雇用対策)	地域外への進学・就職者の地元回帰・定着に向け、以下の2点を提案 ①現在、都会で生活している20~30代の最上地域出身者が、本気でUターンを考えるきっかけとなるよう、最上地域での生活、子育て、仕事に係る総合案内的な要素を盛り込んだパンフレットを作成し、東京で最上地域出身若者との意見交換会を実施 ②地域の企業による、奨学金の返還に苦慮する若手社員に対する「奨学金返還サポート手当」の創設
	情報発信力強化による交流人口の拡大	人口減少による地域活力の低下が一層懸念される中、国内外の外の人と地域住民が深い交流をすることで、最上地域に何らかの形で関わりを持ちたい人を増やすとともに、地域住民の自分たちの地域に対する自信と誇りを再生することで地域を活性化すべく、民泊による教育旅行の受入拡大とインバウンド対応を図ることとし、最上地域らしい体験プログラムの充実や地域間の広域連携を推進することを提案
定期刊行物		
(2)活動のマネジメント状況	1	
ア テーマ決定 (複数選択可)	☑ 設置市からの要請□ 外部有識者等からの助言・示唆□ 貴団体・組織で、設置市の総合計画等☑ 貴団体・組織で自ら発案□ その他	
イ 情報発信 <u>(複数選択可)</u>	□ 設置市の議員や幹部職員に、報告や提言を行う □ 設置市の関係部署に、報告や提言を行う □ 設置市の庁内の広範囲に、成果物を配布する □ 報告会を実施する □ 日常的活動を、HP・メールマガジン・ニューズレター等で周知する □ その他(各首長に報告を行う) □ 特に行っていない	
ウ 活動の評価とその反映 <u>(複数選択可)</u>	□ 設置市の行政評価制度により評価を受 □ 運営委員会等、貴団体・組織の運営に □ 外部有識者から評価を受けている □ 報告会・アンケート等の機会を設けて、記 □ その他(各首長への報告の機会に各首 □ 特にそういう機会はない	関わる機関から評価を受けている 評価を受けている

4 特記事項	
研究員の業務分担	
研究員の専門性 育成の手立て	
研究員のキャリアパス等	
その他	

最上地域政策研究所

組織名